

1 産地基幹施設等支援タイプ

（山口県 令和3年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	類別	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー②	類別	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
				成果目標の具体的な内容①	計画時(平成29年度)	1年後(令和元年度)	2年後(令和2年度)	3年後(令和3年度)	目標値(令和3年度)				達成率	成果目標の具体的な内容②	計画時(平成29年度)	1年後(令和元年度)	2年後(令和2年度)	3年後(令和3年度)			目標値(令和3年度)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他	
																															達成率
下関市	山口県乳業協同組合	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	153	加工処理施設仕向割合を6.2ポイント以上増加	26.3%	29.5%	35.6%	34.5%	32.5%	132.2%	計画時(H29年度)と比較して加工処理施設仕向割合が8.2ポイント増加	185	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生乳生産額を7.9%以上増加	359,153千円 (生乳生産額359,153千円)	332,334千円 (生乳生産額332,334千円)	328,867千円 (生乳生産額328,867千円)	275,271千円 (生乳生産額275,271千円)	387,659千円 (生乳生産額387,659千円)	-294.3%	計画時(H29年度)と比較して生乳生産額が23.4%減少	畜産物処理加工施設【大型紙容器充填機Wライン1台40,880千円/年(実稼働時間8h/日稼働日数365日)】	318,923,000	93,926,000	0	0	224,997,000	令和2年3月31日	本事業を活用して、需要が増えている樹脂キャップ付き紙容器に対応した充填機を新たに導入した事により、消費者ニーズに合致した商品が製造でき、牛乳の販売量が増加した。この結果、加工処理施設仕向割合が8.2ポイント増加し、目標を達成できた。 しかしながら、生乳総量等は目標年度の見込値を下回っていることから、引き続き改善を図る必要がある。 また、高齢化や担い手不足、さらには近年の飼料価格をはじめとする生産資材費の高騰など、酪農を取り巻く環境は厳しさを増しており、出荷戸数が減少したことに加え、資材高騰による生産コストの増加により、生乳生産額についての目標は達成できなかった。 出荷戸数の減少は、生乳総量等の減少要因ともなっており、本年11月からは生乳取引価格の値上げを行い、あわせて、乳質改善(体細胞数減)の取組強化により酪農家の手取り乳価の向上を図ることで、生乳生産額の増加等に向け改善を図る。	樹脂キャップ付き紙容器に対応した充填機を新たに導入した事により、牛乳の販売量が増加し、加工処理施設仕向割合は目標を達成した。一方、生乳生産額については、出荷戸数の減少等により、目標未達となった。 本年11月からの生乳取引価格の値上げにより生乳生産額の改善が見込まれるが、それに加え、乳質改善による乳価向上や自給飼料増産による飼料コスト削減の取組が必要であり、県としても、牛群検定を活用した乳質管理向上や耕畜連携による自給飼料増産の取組を支援する。	

都道府県平均達成率	50.0%	総合所見	牛乳容器の改良により牛乳の販売量が増加し、加工処理施設仕向割合は目標を達成した。一方、生乳生産額については、出荷戸数の減少等により目標未達となった。このため、酪農家の手取り乳価を増加させ、酪農経営の継続を図るためには、乳質改善による乳価向上や自給飼料増産による飼料コスト削減の取組が必要であり、県としても、牛群検定を活用した乳質の状態把握や改善指導に加え、耕畜連携による自給飼料増産の取組を支援する。
-----------	-------	------	--